

New!

重点

地震火災対策計画策定事業 10,000千円 (県補助1/2)

《これまでの経過》

南海トラフ地震の発生で懸念される木造住宅密集市街地における地震火災への対策は、街路整備や建築物の不燃化など、長期的な対策によるまちづくりを進めることが基本となります。しかし、南海トラフ地震発生切迫度が高まっていることから、高知県は平成27年6月に、今すぐにも行えるソフト対策の指針である高知県地震火災対策指針を示すととともに、建物の密集度などから地震火災の延焼により避難が困難となる可能性があり、対策が急がれる地域を「重点推進地区」として公表しました。

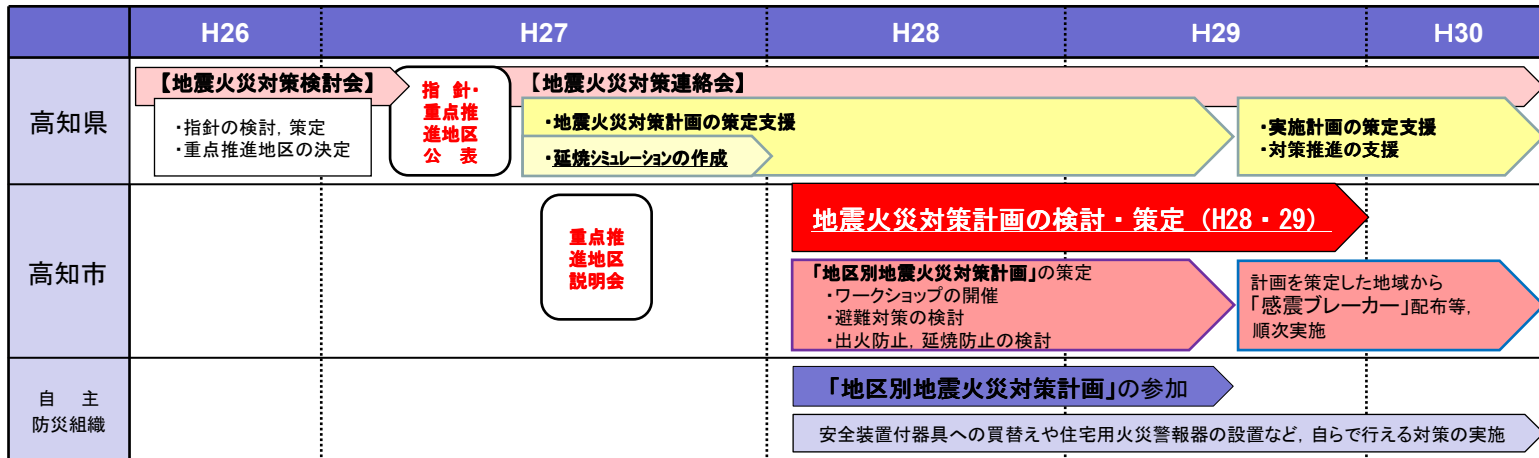
《地震火災対策重点推進地区（9地区28町丁目） 約10,000世帯 20,000人》

- ① 一宮東地区：一宮東町2～4丁目 (1219世帯 2576人)
 - ② 加賀野井地区：加賀野井1・2丁目 (818世帯 1790人)
 - ③ 前里地区：前里 (616世帯 1298人)
 - ④ 旭北地区：長尾山町、旭天神町、山手町
 - ⑤ 旭駅周辺地区：中須賀町、元町、水源町、(旭駅前町・旭上町・本宮町・旭町3丁目・下島町)の一部
 - ⑥ 東久万地区：東久万の一部
 - ⑦ 小高坂東地区：宝町、城北町、新屋敷1丁目、越前町2丁目
 - ⑧ 小高坂西地区：新屋敷2丁目、西町、井口町、平和町
 - ⑨ 薊野西秦東地区：薊野西町1丁目、秦南町2丁目
- ※赤文字：H28計画策定地区
黒文字：H29計画策定地区

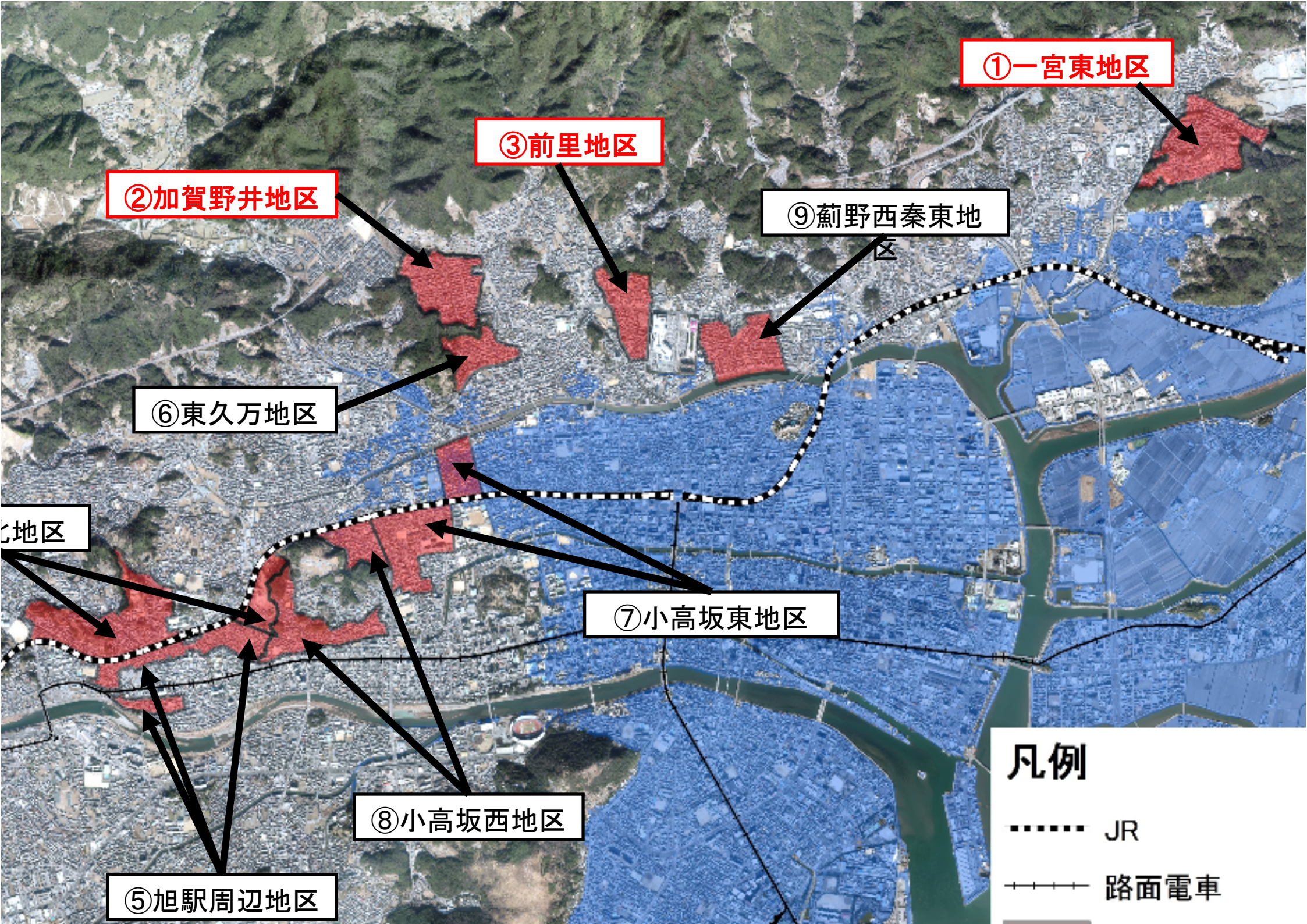
《高知市の取組》

平成28年度から3か年計画で、自主防災組織を中心とする地域の方々と協働で、住宅耐震化や感震ブレイカー等による「出火防止」、初期消火等による「延焼防止」、安全な避難が出来るようにしておく「安全な避難」の3つの視点から地震火災への具体的な対策を検討し、それぞれの地区で地震火災対策計画を策定した後、計画を策定した地域から「感震ブレイカー」の配布等、必要な対策を順次実施して行きます。

《取組スケジュール》



地震火災による人的被害軽減



①一宮東地区

③前里地区

②加賀野井地区

⑨薊野西秦東地区

⑥東久万地区

④地区

⑦小高坂東地区

⑧小高坂西地区

⑤旭駅周辺地区

凡例

----- JR

++++ 路面電車